



たきた敏幸県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

指定廃棄物
ごみ焼却灰

平成26年度末搬出へ

森田知事答弁

県議会随一の論客として注目される印西市選出の滝田敏幸（たきた・としゆき）県議は9月30日、本会議で3定例会連続、18度目の登壇。手賀沼終末処理場の指定廃棄物一時保管問題では森田健作知事が平成26年度末までの搬出を明言。さらに、県立印旛明誠高等学校増については「学校規模の見直し」に県教育長が前向きな答弁を行うなど、県政の地元課題で結果を残す質疑となりました。また、印旛沼・手賀沼土地改良事業や県道整備などについても具体的かつ実効性ある政策を提言。千葉県政において、その政治手腕が高く評価され、発言力と存在感をますます強めています。

現職県議最多、18度目の一般質問

滝田議員 県が4市1組合からの緊急要望を受け、森田知事の英断で、私の地元にある手賀沼終末処理場内に一時保管場所を設置し、



高田純・札幌医科大学教授とともに手賀沼終末処理場の放射線衛生調査を実施

住民の理解を求めてきたものであるが、国の最終処分場確保に向けた見直しは未だ明示されていない。そうした中で、県では8月4日、年度末までに一時保管場所からごみ焼却灰を搬出するという方針を示し、最終処分場の確保が困難な場合に備え、各市において、それぞれ対応が図られていると聞いている。

そこだろうか、一時保管の期限に係る県の提案に対する各市の準備状況はどうか。

知事 松戸市、柏市及び流山市では、それぞれ各市において保管を行うために必要な予算の確保など、準備作業を進めております。具体的には、柏市においては、保管施設の整備や搬出に要する経費等に係る議案が、昨日、原案通り市議会でも可決されたという聞いております。また、松戸市や流山市においても、搬出に要する経費等について、それぞれ市議会に提案しているところと聞きます。

滝田議員 各市において一時保管を行うと判断するタイミングについて、県はどのようなことを考えているのか。

知事 県としては、平成26年度末までに一時保管場所からの搬出を完了できるように、各

市における準備作業に要する期間や、国の最終処分場確保の見直しなどを総合的に勘案し、適切に判断してまいりたいと考えております。

に判断する、という答弁があった。今後は処分場の早期確保について、引き続き県としても取り組んでいただくよう、我々議会も自民党を通じて国の方にも働きかけるので、足並みをそろえて一致団結してやっていただければありがたいと思う。

印旛明誠高校の 学校規模見直し

滝田議員 教育問題についてうかがう。高校再編の後期分評価・中間報告では、単位制高校をどのように評価しているのか。

教育長 単位制高校は、学年の区分を設けず、生徒自らの興味・関心等に合った科目を選択して学習できる高校であり、生徒一人ひとりの能力・適性や進路希望等に応じた教育が可能となります。

今回の評価では、単位制導入の成果として、多様な選択科目の設置などにより、個に応じた学習を進めることができるようになるなど、これまで以上に魅力ある学校づくりが進んでいることがあげられています。

しかし一方で、選択科目の一層の増加など、生徒一人一人のニーズに応じて、今まで以上に柔軟な教育課程の構築を図っていくことが必要であるなどの課題も指

●県政と印西市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

りました。県教育委員会としては、単位制の特色を最大限に生かし、多様な科目選択を可能とする新たな選択科目の設置や、学校規模についての見直しなどを含め、より活力ある教育活動が展開できるような教育環境の整備を進めてまいります。

9月県議会一般質問

印西市特集

たきた敏幸・PROFILE

□ 略 歴 □

- 1960年 印西町大森生まれ 大森小、印西中 県立我孫子高校卒
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議初当選
- 2003年 印西市議再選
- 2007年 千葉県議初当選
- 2008年 印西市消防団副団長
- 2009年 総合企画常任委員長
- 2010年 千葉県ラグビー協会長
- 2011年 千葉県議再選
- 2013年 総務防災常任委員長

□ 現 職 □

- 県 議 会 議会運営委員会委員

印西地区県道整備を加速

鎌ヶ谷本埜線バイパス・印西印旛線小林駅前

約9割の用地取得
鎌ヶ谷本埜線バイパス
滝田議員 道路問題についてうかがう。県道鎌ヶ谷本埜線バイパスの進捗状況と今後の見通しはどうか。
県土整備部長 県道鎌ヶ谷本埜線については、印西市

北千葉道路をはじめ徹底して現場を歩く滝田敏幸県議



萩原地先から栄町安食地先までの4.5キロメートルについて、バイパス整備を進めております。
現在、面積ベースで約9割の用地を取得しており、これまでに、約3キロメートルの区間において、盛土工事や橋梁工事などを進めてまいりました。
今年度は、引き続き盛土工事を進めるとともに、7月に地元説明会を開催いたしました。栄町の豊年橋付近について、用地取得を進めてまいります。
今後とも、地元関係者の協力を得ながら、早期完成を目指し、事業の推進に努めてまいります。

印旛・手賀沼土地改良

2 揚排水機場の工事進行
滝田議員 印旛沼・手賀沼土地改良事業についてうかがう。平成22年度から行なっている国営印旛沼二期土地改良事業で、印旛沼周辺の基幹水利施設の更新状況について、現在の進捗状況はどうか。
農林水産部長 国営印旛沼二期土地改良事業は、全体で6カ所の揚排水機場の整備を行います。平成25年度までに、2カ所の揚排水機場の工事に着手し、事業費ベースで28パーセントの進捗率となっており、概ね順調に推移していると考えています。
さらに、本年度末には、

用地、約5割取得

印西印旛線小林地先

滝田議員 県道印西印旛線小林地先の進捗状況と今後の見通しはどうなっているのか。
県土整備部長 県道印西

成田スカイアクセス沿線県有地 メガソーラー事業者 11月末までに決定

滝田議員 千葉ニュータウン事業についてうかがう。成田スカイアクセス沿線の県有地の活用について、その後の検討状況はどうか。
企業庁長 この用地は北

総鉄道と北千葉道路に挟まれ、利用方法が限定されるなど、分譲が困難な土地であることから、メガソーラー事業として貸し付けることといたしました。
これまで、貸付条件や整備上の配慮事項等について検討

印旛線の印西市小林地先については、市が行う小林駅周辺整備事業と一体的な整備を実施しており、小林地区の活性化に寄与する道路と考えると考えています。
現在、駅南口から500メートル区間の整備を進め

しているところであり、来月初旬から事業者の募集を開始する準備を進めています。
今後は、11月末までに



9月県議会一般質問を行う
滝田敏幸県議

ており、用地の取得状況は面積ベースで約5割となっております。
今後とも、印西市と連携を図りながら、残る用地の取得を進め、駅前広場の進捗に合わせて事業の推進に努めてまいります。

貸付事業者を決定し、今年度中に貸付契約を締結したいと考えています。
滝田議員 貸付事業者選定に当たっての基準は、どのようなものか。地域振興への寄与も重要な視点と考えるかどうか。
企業庁長 貸付事業者の

白山甚兵衛揚水機場が完成し、事業全体の受益面積5千ヘクタールの内、約1千ヘクタールの水田へ安定的に農業用水を供給する見込みです。
また、国営事業と同時に施工する必要がある、印西市の県営埜原排水機場の整備につきましても、工事着手に向けた手続きを進めて

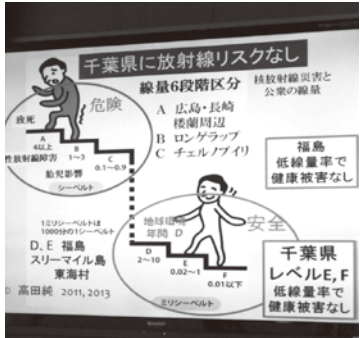
いまして、国営事業との連携を図り、事業効果の早期発現に努めてまいります。
老朽化などで更新整備必要
手賀沼土地改良施設
滝田議員 国営手賀沼土地改良事業の現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。
農林水産部長 国営事業により造成された土地改良

施設につきましては、これまで、国による調査が行われ、老朽化等による著しい施設機能低下に加え、地盤沈下や都市化に伴って農地の湛水被害が増大している中で、国による更新整備が必要であるとの検討結果が示されているところです。
早期事業化を図るためには、更新整備の必要性に対する関係者の十分な理解のもと、地域が一体となった推進体制を構築することが

トピックス

高田純・札幌医科大学教授 放射線セミナー開催

滝田県議が主宰する「北総政経Forum」で
当日は西印旛農協本店に、風評被害対策にあたる農業生産者をはじめ関心を持つ多くの市民が参加。
滝田県議の放射線問題に対する地道な取り組みも高く評価されました。



県と都市再生機構 引き続き共同事業 千葉ニュータウン

滝田議員 企業庁の後継組織において、千葉ニュータウン事業をどのような体制で取り組んでいくのか。
総務部長 千葉ニュータウン事業については、地元自治体との協議・調整を県が、未処分土地の分譲・管理等の業務を都市再生機構が分担し、平成30年度末まで、引き続き共同で事業を実施していくと考えています。

後継組織においては、都市再生機構と共同で進める事業のほか、保有土地の処分・貸付、公益施設負担金の支払いなど、さまざまな業務を予定しています。
このため、後継組織は、公営企業法の適用を視野に入れ、これらの業務を着実に執行できる体制を確保したいと考えています。